

令和5年12月26日綾部市環境審議会 議事録

開催日時：令和5年12月26日（火） 10時00分～11時00分

開催場所：綾部市役所 第1委員会室

出席委員：安積幸代委員、荒木敏文委員、市田隆敏委員、高倉正明委員、大力聡美委員、中村孝行委員（会長）、西田紀子委員、林多嘉子委員、福井圭介委員（副会長）、増田典男委員、幹田秀和委員、山崎栄市委員 12名

欠席委員：尾松朋子委員、福井章子委員 2名

事務局：上原市民環境部長、白波瀬次長、環境企画課上原課長補佐、坂根主事、岡本主事
傍聴：なし

会議内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - ・綾部市エネルギー環境基本計画（案）の修正について
 - ・答申について
- 4 その他
- 5 閉会

〔配布資料〕

- ・綾部市エネルギー環境基本計画（案）
- ・審議会意見などに基づく修正等について

開会

議事

・綾部市エネルギー環境基本計画（案）の修正について

事務局

（資料説明「審議会意見などに基づく修正等について」）

会長

説明いただいたが、意見、質問等があればお願いします。前回の審議会で出た意見を踏まえ今回修正していただいたが、個別に見ていきたいと思う。3ページの公害についてはよろしいか。

全委員

よい。

会長

次に6ページの森林吸収量についてはどうか。

委員

6ページ下のグラフだが、0以下にも棒グラフがありどう見ればよいのか分からない。前回は上だけであった。

事務局

マイナス値で示されている森林吸収量とプラス値で示されている温室効果ガス排出量を相殺して0という表現であるが、馴染みにくいかもしれない。この表現についてはロードマップや国のマニュアルにもあると思う。

会長

森林吸収量については上の棒グラフの分をなくし、マイナス値のみで示した方が理解しやすいのではないか。

事務局

森林吸収分も含めて積上げて実質 0 になるので、逆に下の棒グラフを消した方が分かりやすいかもしれない。

委員

前回に戻すということか。このグラフだけ見ても説明がなければ非常に分かりづらい。

例えば基準年度を見ると、実際の排出量は 350 くらいだが森林吸収分を引いて 316 になっているということなのか。どういう風に理解したらいいのか分からない。

事務局

おっしゃる通り森林吸収分を差し引いて 316 となる。2030 年には 316 が半分になり、2050 年には 0 になるという意味で、森林吸収分を差し引いた排出量のところに緑色の線を引いて分かりやすくしている。

委員

パッと見て分かりやすい方がよいと思う。

会長

下のマイナスのグラフがない方がよいか。

事務局

8 ページの表と整合を図っており、森林吸収量を差し引いて全体で 316 であったものを 161、0 にしていくという考え方でいくと、下のマイナスのグラフをなくした方がよいと思う。

委員

6 ページと 8 ページをリンクして見る人はいないと思うので、この状態でみてどちらが分かりやすいか。

委員

上をなくすと森林吸収分の削減積上げの説明が必要になる。上をなくしてはいけないのではないか。

委員

森林吸収は CO₂を出しているわけではないので、マイナスで示した方が分かりやすいと思う。

事務局

おっしゃるとおりで、下の棒グラフとして表現させていただいた。

委員

そうすると上の方の森林吸収分はなくていいのではないか。

事務局

ただ森林吸収分を上グラフにもカウントしないと、最後排出量がマイナスになってつじつまが合わなくなる。

委員

実質量なので、2050年の場合はマイナスにある森林吸収量部分はそのままに、上に少し緑が残っていてプラマイゼロみたいなグラフにすれば良いのではないかと。今のグラフだと不思議な感じがする。

会長

このグラフについては色々意見があることが分かったので、課題として残して次にいきたい。

事務局

持ち帰って検討する。

会長

14 ページ、委員からのご意見の環境保全型農業はこれでよいか。

委員

良いと思う。

会長

次に 18 ページのイベントのところ、水無月まつりを消して観光交流イベントにくくってもらったがよろしいか。あとリサイクル推進委員の仕事が増えるのではないかと意見もあったがよろしいか。

委員

良いと思う。

会長

また、25 ページのあやベグンゼスクエアの件はどうか。

委員

綾部バラ園の中に木陰の小道もあるのか。

委員

あやベグンゼスクエアの中に綾部バラ園と木陰の小道がある。バラ園の中に木陰の小道があるわけではない。

委員

分かった。

会長

26 ページでは環境月間を入れていただいた。27、28 ページでは「促進区域の設定」について再整理していただき、「促進しない」という表現から「国・府等の基準で配慮を要する」というマイナスにならない表現に変わったがいかか。

委員

文章全体は問題ないが、「地方公共団体」という言い方が気になる。地方自治法ができて以来「地方公共団体」という言い方を、「地方自治体」という言い方に徐々に変えてきている。そこを確認していただき、できれば「自治体」の方がいいと思う。

事務局

確認し対応させていただく。

会長

他はいかがか。

では、全体を通して色々ご意見あったと思うがどうか。意見はないか。あるいは他に質問があればお願いします。

委員

2 ページの「計画の位置づけ」の 2 行目、「上位計画である第 6 次綾部市総合計画に掲げる基本目標「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち・・・綾部」」とあるが、基本目標ではなく将来都市像ではないか。

事務局

確認し対応させていただく。

会長

他はよろしいか。

委員

計画の内容ではないが、このサイズで冊子になるのか。

事務局

扱いやすい A4 サイズで考えている。

委員

本文は問題ないが、小さすぎる文字もあるのでなんとかしてほしい。

事務局

今回の資料は低コスト印刷をしており、見にくいところもあり申し訳ない。実際印刷する際は上質紙で印刷させていただくため、今より見栄えも良くなると思う。字の大きさも今後見直す時に検討させていただく。

委員

用語解説も増え分かりやすくなったが、「※」と「*」が同じに見え気になった。

事務局

前回の審議会で語句説明を「※」印でとのお話をいただいたが、「※」印は表の注釈で使用していたため、混同しないように「*」を対象の語句の右上に入れさせていただいた。

委員

8ページの「BAU」の説明を用語解説で見ようとしたらそこにはなく、表の下に「※」で説明されていた。用語解説にないのは環境用語ではないからか。

事務局

表中の説明は「※」印、後ろの語句説明に記載させていただくのは「*」にさせていただくという事でよろしいか。

委員

そういう分け方にしてもらったが、最初それに気づくまで同じように見えた。

事務局

そちらの方も最後調整する際、検討する。

会長

他いかがか。

委員

計画にトピックがあるが、最近の流行りなのか。

事務局

流行りだと思う。計画を読んでいて計画の内容に合致し、参考になるような箸休め的な事柄を入れさせていただいている。

会長

最初に戻り、6 ページの下のグラフの件、森林吸収量の削減量をどう表現したら理解してもらえるのかについて、もう一回ご意見いただけないか。

事務局

例えば、グラフの上にある表について、実質排出量実績目標の下の注釈は削除し、基準年度の316千tはそのまま、その下の括弧書きを「342千tから森林が26千tを吸収」とする。そして、下のグラフは、マイナスに飛び出ているところを削除するという案はいかがか。

委員

そうすると、グラフの上にある表の数字の括弧の意味がわからなくなる。

事務局

この括弧のところには「342千tから森林が26千tを吸収」という風に記載する。

委員

文章で書くという事か。

事務局

そうである。そうすると表の説明とグラフが合うのではないかと思った。他に意見があればお願いする。

委員

グラフの方はどちらか削除するのか。

事務局

下のマイナスに飛び出しているところを削除する。もっと言うと、実際に森林吸収分と書いてあるところに数字を入れた方がいいかもしれない。

委員

それならば、基準年度の棒グラフの森林吸収分の上に、342 と書いてはどうか。森林のところだけ数字を入れるのはおかしい。

委員

森林吸収量のことを知らせたいのか、全体の削減量のことを知らせたいのか分からないから見にくいのではないか。言いたいことは良く分かるが、要するにどちらが主役なのかということだと思う。

事務局

このグラフと表は第 1 回の審議会でお配りした資料の 26 ページの表に対応したものであり、どちらかにフォーカスした割り切った表にしてしまうというのも一つの手だと思いがいかがか。

委員

見やすくするのであれば、森林吸収分も自然減分や再エネ導入とかと同じ扱いにしたら見やすくなるのではないかと思う。

事務局

確かに森林吸収分については網掛けをして他とは違う表現で強調している。

ロードマップのグラフは見え方を変えず点線で森林吸収分と入っているだけである。

委員

シンプルに緑色の棒グラフがどんどん減っていくのが分かった方が、皆さん理解しやすいのではないかと思う。

事務局

おっしゃる通り 316 と数字が入っているが、森林吸収分まで囲っているように見える。グラフのデザインと色合いを検討させていただく。

会長

6 ページのグラフについては皆さんに理解していただきやすい形を考えていただくということをお願いする。森林吸収が大事だということはよく分かるし、その分も表現しないといけないと思うが、どれだけ減っていくか、どれだけ減らさなければいけないかということがきちんと捉えられるようなグラフにしてほしい。

他はいかがか。

委員

8 ページの 1 番下の表の森林吸収量は、CO₂の排出量の数値にマイナスをつけなくても大丈夫なのか。

委員

森林吸収量だからよいのではないか。

事務局

ロードマップの表記と整合させていただいている。

委員

承知した。

会長

実際の排出量から森林吸収分を差し引くことで実質排出量が出るが、森林吸収量をマイナスで示したら、森林吸収量がなぜマイナスになるか疑問に思う人もいると思うので、これも検討していただきたい。

たくさんのご意見、ご質問をいただいたき感謝する。この点につきましては、事務局にお願いするというので、了解いただきたい。その上で最終答申とさせていただくという事でよろしく願います。

事務局

今回の修正を反映させた計画案をもって1月15日に環境審議会から市長に答申をお願いする。会長と副会長に出席いただき答申をお願いしたい。

会長

計画については、これまで審議いただいた内容とパブリックコメントの結果を踏まえ、3月議会で上程する内容を最終報告いただくことになっている。以上を持って第4回綾部市環境審議会を終了する。

以上。